

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行 / (一社) 日本衛生材料工業連合会

特集 マスクの裏と表、上と下

意外と気づきにくいのがマスクの表裏の間違い。

正しく着用するためには

①パッケージ裏面等に記載されている表裏の見分け方を確認しましょう。

②プリーツタイプでわからない場合は、以下を参考にしましょう。

一般的なプリーツマスクの場合の裏と表の見分け方はいくつかあります。

見分け方

1

ロゴ(名前)が読める側が表側(外側)

ブランドなどロゴを表示しているマスクなら、相手から読めるように付けるのが正解!



ブランドの名前など外から読めれば正しい裏表

見分け方

2

マスクを引っ張って確認する。

マスクを左右に引っ張って広げて、へこんだ側が「内側」(口元にあたる側)。



マスクの上と下を見分ける

プリーツ型はメーカーによって形状が異なりますが、

- ワイヤーが付いていればワイヤーの部分が上、付いていなければどちらでもいいですよ。
- マスクにロゴやマークがついていれば、相手から読めるように上下を判断する。
- ご注意:プリーツのヒダの向きでは、判断することができません。

最近のマスクは様々なタイプがあり、ヒダが上向きか下向きかで上下を見分ける法則は成り立ちません。

またヒダができるようなマスクの付け方は、顔からの漏れが発生しやすい構造であることとなりますのでご注意ください。

■そして、マスクは最低でも毎日、交換するのがおすすめです。

飛沫やエアロゾル、花粉予防のマスクです。一日を過ごしたマスクの表面には飛沫やエアロゾル、花粉などいっぱい付いています。飛沫やエアロゾルをブロックするために使うのだから、毎日、できればコロナ環境の今は、午前、午後、で清潔な物にかえましょう。洗えるマスクなら毎日洗うことはもちろん、外出するとき、オフィスで勤務するとき、学校に行くときなどには、複数枚用意し、午前、午後で取り替えましょう。材質に関わらず取り替えてください。次の日も同じものを使うなんて、コロナに負けちゃいます(笑)。

■簡単に品質をチェックできる基準は、このマーク！

肌に触れるものだから、機能だけでなく品質にもこだわりを。「全国マスク工業会・会員マーク」のある製品は、品質や製造管理など安心の商品基準で作られています。このマークはパッケージに記載されているので、購入時に確認してみてくださいね。

